

令和 6 年度

第 1 回学校運営協議会

事前配布資料

- P 1 令和 6 年度 学校経営計画
- P 6 令和 5 年度 学校自己評価表
- P 12 学校近況報告 教務課（PTA 総会資料抜粋）
- P 14 学校近況報告 生徒課（PTA 総会資料抜粋）
- P 16 学校近況報告 進路課（PTA 総会資料抜粋）
- P 18 学校近況報告 保健環境課（PTA 総会資料抜粋）

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	104	学校名	浜松市立高等学校	校長名	草谷 篤
------	-----	-----	----------	-----	------

1 スクール・ミッション

政令指定都市浜松唯一の市立高校として、文武両道の教育方針のもと「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた教育を実践する「規律ある進学校」を目指し、グローバルな視野をもつリーダーとして広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
①文武両道の教育方針のもと、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する。 ②基礎的学力を十分に備え、自ら考え、判断し、行動できる人間を育成する。 ③グローバルな視野をもつリーダーとして、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。	①ICT教材の活用やAI型授業を通して、他者と協働して学び、思考し、判断し、表現する力と確かな学力を身に付ける。 ②総合的な探究の時間「浜市総合講座」を通して、地域社会との関わりから自ら課題を設定し、その解決能力を高め、自己の未来を切り拓く力を身に付ける。 ③生徒主体の生徒会活動や学校行事を通して、他者と協議しながら、自ら参画し、判断し、実現する、主体的に取り組む力を身に付ける。	①高い学習意欲を持って己を高め、自ら課題を見つけて、仲間と共に解決しようとする生徒 ②規律ある生活態度を身に付け、文武両道を目指して鍛錬に努めるとともに、学校生活のあらゆる場面に、自ら参加しようとする意欲を持つ生徒 ③地域から世界への視点を持ち、国際社会においてリーダーとしての活躍を目指す生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 校訓「誠・愛・節」のもと、**規律、責任、品位ある生活態度**を定着させる。

イ 知識・技能のほか、学ぶ意欲や自らで課題を見つけ課題を解決できる**確かな学力及び情報活用能力**を育成する。

ウ 家庭や地域社会等と**連携**して「社会に開かれた教育課程」を実現し、社会に貢献できる**リーダーとしての資質・能力**を育成する。

エ **キャリア教育**を推進し、高い志のもと**進路を確実に実現する力**を育成する。

オ **安心・安全な教育環境を整備**する。

カ **ICT化及び業務改善**を推進し、**研修の充実**により教職員の資質能力・学校組織力の向上を図る。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	規律、責任、品位ある生活態度の定着	・「校門一礼」や挨拶の励行 ・正しい服装・言葉遣い指導 ・日常の交通安全指導、携帯安全教室・サイクルマナー教室の実施による事故やトラブルの未然防止	・「挨拶や言葉遣いはしっかりとできている」「交通ルールやSNSのマナーを守る」等と答える生徒の肯定的自己評価を100%に近づける。 ・交通事故発生前年比10%減	生徒課 全職員
		・「進路ダイアリー」「進路資料」を活用する。 ・主体的な家庭学習の定着を図る。	・「進路ダイアリー」「進路資料」を活用していると答える生徒90%以上 ・月に2回以上家庭学習時間調査を実施し、生徒個々に適切な助言を行う。	各学年 進路課
		・清掃指導を徹底する。	・「清掃をしっかりと行っている」と答える生徒90%以上	保健環境課 事務部
		・各学年において初期・中期指導を実施し、勉強と部活動時間のバランス・心身の健康管理のとれた規則正しい生活習慣を定着させる。	・学年集会学期に2回以上。 ・「原則部活動時間19時まで」を徹底する。 ・定期試験一週間前までの特別許可以外の部活動禁止を徹底する。	各学年 生徒課 進路課 管理職
イ	「主体的・対話的で深い学び」の実現と学力の向上	・きめ細やかな学習指導の実践 ・課題解決する力を育成する。	・「授業では学力を伸ばしてくれる」と答える生徒90%以上	教務課 進路課 各教科
		・個に応じた指導を推進し、学力伸長を図る。 ・新しい大学入試に対応した指導の実施（授業・検定・進路課外等）	・「進路指導が適切に行われている」と答える生徒90%以上 ・平日補習、土曜補習、夏休み補習の講座を充実させる。	
		・グローバル人材の育成 ・国際理解教育の推進	・エンパワーメントプログラムの充実・満足度90%以上 （・留学の支援）	英語科 研修課
		・読書活動を推進し、思考力・判断力・表現力を身につける。 ・将来に必要な知識・教養を獲得する。	・ビブリオバトルの実施 ・「朝読書」の主体的な実施 ・「図書室の蔵書は充実している」と答える生徒85%以上	総探委員会 各学年 進路課 図書課

イ	教員の授業力向上	・授業改善を推進する。 ・観点別評価への対応を進める。 ・ICT 機器を使用した授業の研究を推進する。 ・アクティブラーニング型の授業・ICT 機器活用授業の研究を進める。	・授業公開一人年間1回以上、授業参観3回以上。 ・観点別評価に係る検討・改善の推進。 ・生徒による授業評価2回実施。 ・市教委・県教委の事業を利用した研修・授業検討会の実施 ・外部の研修講座等への参加の呼びかけ	研修課 教務課 進路課 情報化推進課 全職員
ウ	大学や企業・地域・家庭等との連携や協働、貢献活動をととしてリーダーとしての資質能力の育成及び広報活動	・進学校としての部活動の充実 ・社会貢献活動を推進し、人権意識を高め、思いやりある豊かな心を育む。 ・生徒が他者・外部と関わり合うことを大切にする。	・「部活動は充実している」と答える生徒90%以上 ・県大会以上出場20部活以上 ・年間で1回以上社会貢献活動（地域貢献活動・協働・連携等 自治会や同窓会との連携含む）を行う団体（部活動・委員会等）20以上	生徒課 各部活顧問 各委員会 全職員
		・生徒会活動、学級活動、行事、部活動を通じ、社会で必要とされる資質能力を育成する。	・「学校行事が充実している」と答える生徒90%以上。	生徒課 各委員会担当
		・新聞記事掲載への働きかけ ・広報誌「いちりつプレス」やHP ブログ等を活用し積極的かつタイムリーに情報発信を行う。	・新聞記事掲載20回以上 ・掲載記事校内掲示2か所以上 ・ブログアクセス数毎月250回以上	情報化推進課 図書課 教頭
エ	体系的なキャリア教育の充実と高い志を持った進路実現	・体系的な進路行事の充実 ・総合的な探究の時間の充実 ・SDGsやESDの意識や推進 ・郷土愛、職業観の醸成 ・主権者教育の推進	・内容の体系化・カリキュラムマネジメントの推進 ・大学模擬授業1回、大学見学2回、職業研究会、「浜市ふるさと講座」・政策提言の実施	各学年 進路課総 探委員会
		・模擬試験を大事に受験する。 ・個別試験対策（論述等の指導）の充実により、難関大学挑戦の生徒を支援。	・模擬試験受験後に復習していると答える生徒90%以上。自宅受験を極力減らす。 ・入学時の志望進路の実現率60%以上。	各学年 進路課 全職員

オ	生徒の心身の健康・安全の確保及び教育環境の整備	・学校事故の防止、特に熱中症に対する教職員及び生徒の注意意識を高める。	・熱中症講座の実施年 1 回 ・ 5 ～ 10 月熱中症計で計測し、毎週提出(夏季休業除く)する。	全職員 保健環境課
		・ 防災教育・安全教育の充実 ・ 開かれた学校づくりの推進	・ 防災マニュアルや危機管理マニュアルを再点検し、改訂する。 ・ 学校安全計画の策定及び安全教育の実施 ・ 防災訓練・防災教育年 3 回以上。	総務課 全職員
		・ 1 分間カウンセリングの実施 ・ 個人面談の充実 ・ SC との連携による相談体制の充実	・ 1 年生 9 月に実施 ・ 個別面談年間 2 回以上。 ・ 正副担任・学年主任等との情報共有 ・ 「教師は悩みや相談に親身になってくれる」と答える生徒 90% 以上(生徒・保護者に対する相談対応の満足度)	担任 各学年進路課保健環境課
		・ 学校内外の美化・清掃や校内施設・設備の点検 ・ 学習環境及び設備等の充実	・ 安全点検学期に 1 回以上、不備な個所の改善。 ・ 清掃用具点検年間 3 回以上 ・ 環境整備委員会の活動年間 6 回以上	保健環境課 総務課 教務課 事務部
カ	学校の組織力の向上及び ICT 化や業務改善の推進	・ 年間計画における行事等の配置や内容を見直す。	・ 各学年・分掌、課長主任会等で意見の集約を図る。 ・ 教職員の本来業務(生徒に向き合う・指導の準備等)の時間確保のため、学校業務の整理・縮減を進め、出退勤時間の適正化に努める。	教務課 生徒課 全職員 管理職
		・ 計画的に部活動を実施する。	・ 部活動計画表の作成(年間又は各月) ・ 各部活動月平均 8 日以上休養日の設定(年間を通じて)	生徒課 各部活顧問
		・ 情報の一元化の推進 ・ 教育課題等を共有し、組織的に解決していく。	・ 共有フォルダを整理する。 ・ 課長主任会・課会・学年会・各種委員会等を活性化し着実に問題解決をしていく。	情報化推進課 全職員 管理職

様式第1号

		・学校評議員、保護者アンケート等の評価及び意見等を、学校づくりに活かす。	・「学校生活に満足している」と答える生徒90%以上。	総務課 研修課 全職員
		・生徒一人一台端末導入に向けて、整備や研修を進める。	・仕様や活用ルール等を具体的に想定して内容を詰めていく。 ・導入研修の実施	情報化推進課 全職員 管理職
		・効率的な業務運用 ・会計等運用方法の見直し	・計画的な業務計画の推進 ・成績管理システム運用を進める。 ・学校予算運用の効率化	全職員 管理職

令和5年度 学校自己評価表

学校番号	104	学校名	浜松市立高等学校
------	-----	-----	----------

スクール・ミッション	政令指定都市浜松唯一の市立高校として、文武両道の教育方針のもと「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた教育を実践する「規律ある進学校」を目指し、グローバルな視野をもつリーダーとして広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。
スクール・ポリシー	〈グラデュエーション・ポリシー〉 ①文武両道の教育方針のもと、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する。 ②基礎的学力を十分に備え、自ら考え、判断し、行動できる人間を育成する。 ③グローバルな視野をもつリーダーとして、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。 〈カリキュラム・ポリシー〉 ①ICT教材の活用やAL型授業を通して、他者と協働して学び、思考し、判断し、表現する力と確かな学力を身に付ける。 ②総合的な探究の時間「浜市総合講座」を通して、地域社会との関わりから自ら課題を設定し、その解決能力を高め、自己の未来を切り拓く力を身に付ける。 ③生徒主体の生徒会活動や学校行事を通して、他者と協議しながら、自ら参画し、判断し、実現する、主体的に取り組む力を身に付ける。 〈アドミッション・ポリシー〉 ①高い学習意欲を持って己を高め、自ら課題を見つけて、仲間と共に解決しようとする生徒 ②規律ある生活態度を身に付け、文武両道を目指して鍛錬に努めるとともに、学校生活のあらゆる場面に、自ら参加しようとする意欲を持つ生徒 ③地域から世界への視点を持ち、国際社会においてリーダーとしての活躍を目指す生徒

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

今年度の取組(目標具現化の柱 スクールポリシー)	総合評価
ア 校訓「誠・愛・節」のもと、規律、責任、品位ある生活態度を定着させる。 イ 知識・技能のほか、学ぶ意欲や自らで課題を見つけ課題を解決できる確かな学力及び情報活用能力を育成する。 ウ 家庭や地域社会等と連携して「社会に開かれた教育課程」を実現し社会に貢献できるリーダーとしての資質・能力を育成する。 エ キャリア教育を推進し、高い志のもと進路を確実に実現する力を育成する。 オ 安心・安全な教育環境を整備する。 カ ICT化及び業務改善を推進し、研修の充実により教職員の資質能力・学校組織力の向上を図る。	B 新型コロナウイルス感染症が5類となり、学校運営に制限なく取り組むことができた。「学校生活に満足している」について生徒・保護者ともに9割以上が「当てはまる」「やや当てはまる」との回答を得た。その他の項目についても生徒・保護者ともに概ね8割以上の満足度を示している。来年度は全学年で「一人一台端末」が導入される。端末を有効的に活用し、生徒の学力・能力を育めるようにさらに努める。

NO	取組手段	成果目標	評価	成果と課題
ア	・「校門一礼」や挨拶の励行 ・正しい服装・言葉遣い指導 ・日常の交通安全指導、携帯安全教室・サイクルマナー教室の実施による事故やトラブルの未然防止	・「挨拶や言葉遣いはしっかりできている」「交通ルールやSNSのマナーを守る」等と答える生徒の肯定的自己評価を100%に近づける。 ・交通事故発生前年比10%減	B	きめ細やかな指導により、多くの生徒は落ち着いた生活を送れているが、一部規律ある日常生活が確立できていない生徒がいる。
	・「進路ダイアリー」「進路資料」を活用する。 ・主体的な家庭学習の定着を図る。	・「進路ダイアリー」「進路資料」を活用していると答える生徒90%以上 ・月に2回以上家庭学習時間調査を実施し、生徒個々に適切な助言を行う。	A	日々の学習計画、反省に「進路ダイアリー」を活用した。活用方法は担任に任されているが、より有効的な活用検討の余地がある。また、「進路資料」は総合的な探究の時間を中心に活用し、進路実績を確認し、志望校決定の一助とすることができた。加えて、面談の際にも利用されている。 毎月2回、学習時間調査を確実に実施した。来年度に向けて調査結果を指導に反映することが必要と考えられる。3年生は家庭学習時間調査は実施していないが、長期休暇の計画表作成や受験スケジュール作成・確認・助言は行っている。 進路志望調査は春・夏と実施した。進路希望調査や夏休みの三者面談の結果をもとに進路講演会の内容を作成した。
	・清掃指導を徹底する。	・「清掃をしっかり行っている」と答える生徒90%以上	B	アンケート結果は95%だった。教員の不在で差があるなど、生徒全員がしっかり取り組んでいるかは疑問が残る。生徒自身の意識を変えることが必要である。2カ所を一人で担当するなど監督者の負担が大きいところやミスマッチがある。必要な箇所については清掃分担の見直しをする。
	・各学年において初期・中期指導を実施し、勉強と部活動時間のバランス・心身の健康管理のとれた規則正しい生活習慣を定着させる。	・学年集会学期に2回以上。 ・「原則部活動時間19時まで」を徹底する。 ・定期試験一週間前までの特別許可以外の部活動禁止を徹底する。	A	各学年で学期に2～3回以上学年集会を実施し、学年の目標や規則正しい生活習慣、学習と部活動とのバランスなどそれぞれの学年であるべき姿を涵養することができた。 部活動においてはテスト前の活動や終了時間のルールを守り、バランスの取れた活動を実施することができた。しかし、コロナ5類移行に伴い様々なものが緩和されたことで、中学校以来経験できていなかった活動が復活しバランスを崩す場面も生じた。 定期テスト1週間前は図書館を18:50まで延長開放した。各学年とも利用している生徒がいるので、次年度も継続する予定である。

	取組手段	成果目標	評価	成果と課題
イ	・きめ細やかな学習指導の実践 ・課題解決する力を育成する。	・「授業では学力を伸ばしてくれる」と答える生徒90%以上	B	「授業では学力を伸ばしてくれる」と答えた生徒の割合が90%に届かなかった。生徒一人一台端末の導入も2年生まで進んだことから、生徒の思考力・判断力・表現力、主体性を伸ばす学習内容の共有、またICT機器を活用した生徒の活動を促す学習の実践事例や専門的知識に関する職員研修をさらに増やしていくことが必要である。
	・個に応じた指導を推進し、学力伸長を図る。 ・新しい大学入試に対応した指導の実施(授業・検定・進路課外等)	・「進路指導が適切に行われている」と答える生徒90%以上 ・平日補習、土曜補習、夏休み補習の講座を充実させる。	B	「進路指導が適切に行われている」と答える生徒の割合が90%にわずかに届かなかった。補習は全学年の受講率が減少した。ただし自己都合や無断欠席の数は減少した。塾やスタディサプリなど学習機会があふれている中で、土曜補習という形で学校で実施する意義を再考する必要がある。難易度の高い問題への挑戦よりも復習の機会を求める生徒も増えている。補習の在り方についても検討する必要性を感じる。
	・グローバル人材の育成 ・国際理解教育の推進	・エンパワーメントプログラムの充実・満足度90%以上(・留学の支援)	C	エンパワーメントプログラムは参加者が集まらず実施しなかった。また、留学生の受け入れもなかった。
	・読書活動を推進し、思考力・判断力・表現力を身に付ける。 ・将来に必要な知識・教養を獲得する。	・ビブリオバトルの実施 ・「朝読書」の主体的な実施 ・「図書室の蔵書は充実している」と答える生徒85%以上	A	授業日は基本的に「朝読書」を実施しており、ビブリオバトルを通して本への関心や人に説明する表現力を高めることができた。生徒が読書に親しむよう、図書課職員が本を推薦する活動を行った。図書室を学習目的に利用する生徒が多い点はよいが、読書や資料調べの場としても活用してもらえ工夫が必要である。
	・授業改善を推進する。 ・観点別評価への対応を進める。 ・ICT機器を使用した授業の研究を推進する。 ・アクティブラーニング型の授業・ICT機器活用授業の研究を進める。	・授業公開一人年間1回以上、授業参観3回以上。 ・観点別評価に係る検討・改善の推進。 ・生徒による授業評価2回実施。 ・市教委・県教委の事業を利用した研修・授業検討会の実施 ・外部の研修講座等への参加の呼びかけ	A	授業担当教員の全員が授業公開を行った。3回以上の参観については、授業担当教員の90%が実施した。教育課程検討委員会では、月1回全教科主任が集まり、各教科における観点別評価における評価方法や評価規準の在り方について意見交換をし、授業改善や課題を中心に、校内全体で情報共有や専門的な知識を深めることができた。授業評価は全教科が2回実施し、各学期の比較検討を行った。他校の授業公開、講座等への参加の呼びかけを実施した。都市立高校合同研修会へも参加した。来年度もアクティブラーニングの意義の伝達とさらなる推進を図る。進路・進学指導講演会などの参加を呼び掛けた。参加後は、各教科、学年、生徒に情報提供、還元した。

	取組手段	成果目標	評価	成果と課題
ウ	・進学校としての部活動の充実 ・社会貢献活動を推進し、人権意識を高め、思いやりある豊かな心を育む。 ・生徒が他者・外部と関わり合うことを大切にする。	・「部活動は充実している」と答える生徒90%以上 ・県大会以上出場20部以上 ・年間で1回以上社会貢献活動(地域貢献活動・協働・連携等 自治会や同窓会との連携含む)を行う団体(部活動・委員会等)20以上	A	部活動の充実度は90%を超え、全部活動が県大会へ出場し、社会貢献活動にも多くの団体が参加し、実施することができた。
	・生徒会活動、学級活動、行事、部活動を通じ、社会で必要とされる資質能力を育成する。	・「学校行事が充実している」と答える生徒90%以上	A	学校行事の充実度が90%を超えている。来年度以降も精選しながら行事を行っていきたい。
	・新聞記事掲載への働きかけ ・広報誌「いちりつプレス」やHP ・ブログ等を活用し積極的かつタイムリーに情報発信を行う。	・新聞記事掲載20回以上 ・掲載記事校内掲示2か所以上 ・ブログアクセス数月250回以上	A	様々な活動について新聞に20回以上取り上げられた。ブログ、ホームページ、「いちりつプレス」にはタイムリーにきめ細やかな情報発信ができ、学校の様子を詳細に広報することができた。
エ	・体系的な進路行事の充実 ・総合的な探究の時間の充実 ・SDGsやESDの意識や推進 ・郷土愛、職業観の醸成 ・主権者教育の推進	・内容の体系化・カリキュラムマネジメントの推進 ・大学模擬授業1回、大学見学2回、職業研究会、「浜市ふるさと講座」・政策提言の実施	B	大学模擬授業は、静岡県内と愛知県の国公立大学を中心に14の講座を開講し、生徒も熱心に聴講していた。大学は出張講座に前向きであり、多くの大学から案内が来ているので、大学を検討する余地がある。 数年ぶりに名古屋大学見学会を実施した。卒業生も大学の各研究室も非常に協力的で、3年生も含めて約80名の生徒が進路意識を高める経験をする事ができた。総合的な探究の時間の内容を精査し、各プログラムはほぼ計画通り実施できた。政策提言のワークを通して、生徒は主権者としての自覚と地元浜松の未来を創る意識を高めた。また、進路実現に向けて生徒たちが主体的に探究活動に取り組むことができた。 内容の体系化に関しては、各学年での目標と3年間のビジョンの両面から考えるべきで、今後も継続的に検討、改善していく必要がある。
	・模擬試験を大事に受験する。 ・個別試験対策(論述等の指導)の充実により、難関大学挑戦の生徒を支援。	・模擬試験受験後に復習していると答える生徒90%以上。自宅受験を極力減らす。 ・入学時の志望進路の実現率60%以上。	B	各教科や担任を中心に、模擬試験に対してその意義や重要性を伝達し、復習の機会が与えられた。また、学年通信・Google Classroomを通して分析や学習方法のアドバイスを発信した。 1・2年生の11月模試は部活動の大会と重なり、自宅受験者が多かった。3年生は高校総体とバランスを考えて5月模試を不受験可とすることで昨年度と比べると欠席者は減少した。受験科目の変更についての指導が課題である。 12月末までにのべ74名の個別指導を実施した。1/10現在、国公立大学合格者は11名。小論文や志望理由書等、受験生の考えを求めるものが増えており、個別指導の対象者や申込方法、指導担当の振り分け方を引き続き検討する必要がある。

	取組手段	成果目標	評価	成果と課題
オ	・学校事故の防止、特に熱中症に対する教職員及び生徒の注意意識を高める。	・熱中症講座の実施年1回 ・5～10月熱中症計で計測し、毎週提出(夏季休業除く)する。	A	熱中症講座や熱中症計による計測は継続実施できており、気温が上昇する日中をできるだけ避けて活動計画を立てる部活もあり、意識は高められている。まだ実際の活動には差があるところもあるので、継続して働きかける。
	・防災教育・安全教育の充実 ・開かれた学校づくりの推進	・防災マニュアルや危機管理マニュアルを再点検し、改訂する。 ・学校安全計画の策定及び安全教育の実施 ・防災訓練・防災教育年3回以上。	A	市の防災マニュアルの内容に合わせ、災害時における生徒の掌握方法の変更を行った。防災訓練は、避難訓練だけでなく防災倉庫の点検、防災用品の確認や試食を行い生徒に周知することができた。
	・1分間カウンセリングの実施 ・個人面談の充実 ・SCとの連携による相談体制の充実	・1年生9月に実施 ・個別面談年間2回以上。 ・正副担任・学年主任等との情報共有 ・「教師は悩みや相談に親身になってくれる」と答える生徒90%以上(生徒・保護者に対する相談対応の満足度)	A	9月から10月にかけて1年生の1分間カウンセリングを事前アンケートをふまえて実施した。短時間のためどこまで汲みとれたかは分からないが、担任との迅速な情報共有を継続したい。これに限らず、生徒の抱える問題を担任や学年で随時共有することができた。 進路面談も含め個別面談を年2回以上実施し、生徒・保護者との情報共有に努めることができた。「悩みや相談に親身になってくれる」と答える生徒・保護者が85%以上と概ね達成できた、と感じる。今後は「感じない」部分を精査し、次年度に評価基準(世の中の風潮や90%という基準の立て方)を検討する必要がある。 3年生は、担任会を通して進路情報を提供・確認し、各クラス担任が行う面談に生かしている。 生徒からSCとの面談を申し出てくるのが例年より多かった。学年や部活など各方面と連携して対応できた。
	・学校内外の美化・清掃や校内施設・設備の点検 ・学習環境及び設備等の充実	・安全点検学期に1回以上、不備な箇所の改善 ・清掃用具点検年間3回以上 ・環境整備委員会の活動年間6回以上	B	教室環境の整備については、引き続き生徒用の机と椅子の更新を進めたが、年間1クラス程度にとどまり時間を要している。また、タブレットパソコンの導入による生徒用ロッカーの更新も検討したい。 P T Aの協力を得て、設備の点検清掃を行うことができた。 清掃用具点検は呼びかけし、必要な用具を補充できた。 環境整備委員会は行事前後など様々な場面で活躍した。常時活動の石鹼補充が2学期には十分行えていなかったため、活動の徹底・定着を図る。

	取組手段	成果目標	評価	成果と課題
カ	・年間計画における行事等の配置や内容を見直す。	・各学年・分掌、課長主任会等で意見の集約を図る。 ・教職員の本来業務(生徒に向き合う・指導の準備等)の時間確保のため、学校業務の整理・縮減を進め、出退勤時間の適正化に努める。	B	コロナ禍後の年間を通した行事の精選や授業時間の確保は、かなり具体的に定めることができた。今後は新教育課程における教育目標の達成のため、生徒の主体的な学習活動時間の確保と職員の働き方改革の両方を鑑みて、適切な見直しをさらに進める必要がある。 ほぼ毎週、生徒課会議を開催するなど、各学年や各分掌などで問題点の共有や生徒に関する情報交換をすることができた。 教職員の業務整理・縮減については来年度も引き続き検討が必要である。
	・計画的に部活動を実施する。	・部活動計画表の作成(年間又は各月) ・各部活動月平均8日以上休養日の設定(年間を通じて)	A	各部活動で計画に沿った活動ができた。
	・情報の一元化の推進 ・教育課題等を共有し、組織的に解決していく。	・共有フォルダを整理する。 ・課長主任会・課会・学年会・各種委員会等を活性化し着実に問題解決をしていく。	A	今後も引き続き、デバイス制御や改正個人情報保護法について学校の取り組みを検討・周知を継続していく。Google work spaceの教職員ドライブ、生徒ドライブの有効な活用を考える。
	・学校評議員、保護者アンケート等の評価及び意見等を、学校づくりに活かす。	・「学校生活に満足している」と答える生徒90%以上。	A	「当てはまる」「大体当てはまる」と答えた生徒の割合は93.3%であった。
	・生徒一人一台端末導入に向けて、整備や研修を進める	・仕様や活用ルール等具体想定して内容を詰めていく。 ・導入研修の実施	A	「一人一台端末」の活用促進のための職員研修を2回実施した。また、他県の先進校視察を行い、全職員に還元することができた。 学年進行とともに端末の利用が進んでいるように感じる。引き続き授業以外の、学年活動や学校活動、生徒会活動での活用を検討していく。
	・効率的な業務運用 ・会計等運用方法の見直し	・計画的な業務計画の推進 ・成績管理システム運用を進める。 ・学校予算運用の効率化	A	順調に成績管理システムの運用ができている。浜松市の区名変更にもスムーズに対応することができた。 今後も適正かつ、効率的な会計処理等の見直しに取り組んでいく。

教 務 課

1 スクール・ミッション

- ア. 「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた教育を実践する「規律ある進学校」を目指す。
- イ. グローバルな視野をもつリーダーとして広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

2 スクール・ポリシー

- ア. 文武両道の教育方針のもと、知・徳・体のバランスの取れた人間を育成する。
- イ. 基礎的学力を十分に備え、自ら考え、判断し、行動できる人間を育成する。
- ウ. グローバルな視野を持つリーダーとして、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

3 道徳教育目標

- 校訓「誠・愛・節」のもと、規律、責任、品位ある生活態度を定着させる。
- ・校訓「誠・愛・節」の精神を理解した凛とした市立生を育成する。
 - ・日常生活を通じて自主自立の精神を養う。
 - ・規律ある進学校として礼節をわきまえ、品位のある服装や態度を心がける市立生を育成する。

4 総合的な探究の時間目標

探究の見方・考え方を働かせ、総合的な学習活動を通して自己の在り方・生き方について深く考える。その過程において課題の発見や問題の解決ができるようになるための資質・能力を次のとおり育成する。

5 特別活動目標

ホームルーム	ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を確立し、高い目標に向かって切磋琢磨できる集団の一員として責任を持って行動する態度を養い、健全な生活態度を育てる。
生徒会活動	自発的・自治的な活動を通して自主性や社会性を身に付け、校内の諸問題を生徒会・専門委員会が中心となって生徒の力で協力して解決していく実践的な姿勢を育成する。
学校行事	文化祭・体育大会応援合戦等の行事を通じて「チーム市立」の連帯感を深めるとともに、公共の精神を養い、よりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育む。

6 学年目標

1 学年	自己実現への礎を築く (1) 礼節をわきまえた作法や品位ある態度を身につける。 (2) 成すべきことを成す積極的な行動力を身につける。 (3) 高き志に向かう主体的な学習態度を身につける。
2 学年	自己実現への次のステップへ～自分の可能性を広げよう (1) 中堅学年としての自覚を持ち、規律ある生活態度で範を示す。 (2) 行事等諸活動に積極的に関わり、中心かつ橋渡しの役割を担う。 (3) 進路目標を言葉にし、積極的な学習態度を身につける。
3 学年	自己実現への飛躍 (1) 「誠・愛・節」「規律ある進学校」を具現する行動を自然と取ることができる。 (2) リーダーとしての自覚を持ち、諸活動に積極的かつ責任をもって取り組む。 (3) 進路実現に向け、計画的に学習に取り組む。

7 教務課目標

- ・新教育課程開始後の問題点の洗い出し
- ・観点別評価方法の研究推進
- ・教務課各業務の改善

8 学習指導

(1) 授業の充実

- ・チャイムと同時に授業開始を徹底し、授業に積極的に参加する態度を養う。
- ・1年～基礎学力の向上を図る。
- ・2年～基礎学力を定着させるとともに、応用力をつける。
- ・3年～進路実現に向けた実践的な力をつける。
- ・シラバス（年間学習指導計画）の改訂、授業評価の検討を通して授業の改善を図る。

(2) 家庭学習時間の確保と学習内容の充実

- ・家庭学習時間を確保し、学習習慣を確立させる。
- ・限られた時間の中で効率よく学習できるように工夫させる。

9 2年次履修モデル

(1) 国公立文系

国語・英語・数学・理科(生物基礎・化学基礎)・地歴(日本史探究又は世界史探究)

(2) 理系

国語・英語・数学・理科(化学、生物又は物理)・地歴(地理探究)

(3) 私立文系

国語・英語・理科(生物基礎・化学基礎)・地歴(日本史探究又は世界史探究)

3年次進路に応じて芸術・家庭・体育・情報

※ 教科選択仮登録 1・2年生 6月 → 秋(10月～11月頃)に最終の本登録
夏休みの三者面談等で相談可能

※ 自己の適性等に応じた進路実現のために科目選択が重要

10 主な学校行事とテスト日程

	主 な 学 校 行 事	テ ス ト 日 程
1 学期	始業式 4 / 8 (月) 入学式 4 / 9 (火) 萌葱祭(校内発表) 6 / 7 (金) 萌葱祭(一般公開) 6 / 8 (土) 終業式 7 / 19 (金) 夏季休業 7 / 20 (土)～9 / 1 (日)	① 2・3年・(1年)課題テスト 4 / 10 (水)～11 (木) ② 中間テスト 5 / 20 (月)～22 (水) ③ 期末テスト 6 / 25 (火)～28 (金)
2 学期	始業式 9 / 2 (月) 体育大会 9 / 18 (水) 校外研修 10 / 9 (水) 修学旅行(2年) 12 / 3 (火)～6 (金) 終業式 12 / 20 (金) 冬季休業 12 / 21 (土)～1 / 5 (日)	① 1・2年課題テスト 9 / 2 (月)・3 (火) ② 中間テスト 10 / 2 (水)～4 (金) ③ 期末テスト 11 / 19 (火)～22 (金)
3 学期	始業式 1 / 6 (月) 郊外走 2 / 3 (月) 卒業式 3 / 1 (土) 球技大会 3 / 12 (水) 修了式 3 / 19 (水) 春季休業 3 / 20 (木)～	① 1・2年課題テスト 1 / 6 (月) 1 / 7 (火) ② 1・2年学年末テスト 2 / 17 (月)～20 (木)

生徒課

1 指導重点目標

- (1) 規律、責任、品位ある生活態度の育成
- (2) 学校生活への積極的取り組み
- (3) 安全教育の推進

2 具体的各係別実践目標

(1) 指導係

- 基本的な生活習慣の確立
- 美しい言葉遣いとあいさつ
- 美しい姿勢と着こなし
- 規則の遵守
- 交通安全指導の徹底

(2) 生徒会係

- 生徒会の活性化と各委員会の積極的活動
- 自治意識の高揚
- 生徒会行事の質の向上と充実、部活動の活性化
- 生徒相互の協力と創意工夫による LHR 活動の推進
- HR 活動を通して、HR の和と団結力の育成
- 全校生徒の社会福祉に対する意識の活性化と実践意識の高揚

3 生徒課具体的実践指導方針

- 生徒指導はホームルーム担任が行い、生徒課がそれを援助する。
- 生徒との接触を密にし、教師、生徒の信頼関係を深める。
- 生徒に対して、教師全員が同一步調で指導する。
- 非行が少ないことに安心せず、潜在する問題を事前に見いだし指導する。
- 市立生としての自覚を持たせ、伝統を守り前向きの姿勢で努力する指導を継承する。

4 具体的実践指導（五つの提言）

- (1) 頭髮は学生らしく質素で衛生的に保ち、加工したり染色したりしない。
- (2) 制服は生徒心得に基づき、市立高校生らしく着こなす。
- (3) 交通マナーを守り、事故防止に努める。
- (4) 時間を守り、けじめある生活を送るために、スマートフォンの節度ある利用を心がける。
- (5) 机・ロッカーの中の整理整頓・貴重品の管理をしっかりとし、盗難防止に努める。

令和5年度 部活動大会日程及び試合結果

月	部	全国		大会等	結果
6	陸上競技部	☆	1	第107回日本陸上競技選手権大会	女子1500m 10位
6	陸上競技部	☆	3	第39回U20日本陸上選手権大会	女子400m 4位 男子110mH出場 女子110mH出場
7	放送部	☆	18	第70回NHK杯全国高校放送コンテスト	アナウンス部門 出場 ラジオドキュメント部門 入選 テレビドキュメント部門 優良 創作テレビドラマ部門 出場
7	マンドリン部	☆	79	令和5年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール	文部科学大臣賞(1位)
8	陸上競技部	☆	12	令和5年全国高等学校総合体育大会	女子400m7位 女子200m出場 男子110mH 7位 女子110mH出場 4×100mリレー 準決勝進出 4×400mリレー 出場
8	女子テニス部	☆	12	令和5年全国高等学校総合体育大会	団体出場 シングルス 3名出場 ダブルス 2ペア出場
8	なぎなた部	☆	2	令和5年全国高等学校総合体育大会	演技の部 2名出場
8	水泳部	☆	11	令和5年全国高等学校総合体育大会	男子100m 自由形7位 200m自由形11位 400m個人メドレー出場 4×100mリレー 出場 4×200mリレー 出場
8	放送部	☆	8	全国高等学校総合文化祭鹿児島大会2023	朗読部門 出場 ビデオメッセージ部門 出場
8	書道部	☆	1	全国高等学校総合文化祭鹿児島大会2023	出場
8	女子テニス部	☆	4	全日本ジュニア選手権2023	U18女子ダブルス 出場 U16女子ダブルス 出場
9	水泳部	☆	2	特別国民体育大会	少年男子A 4×200mリレー 6位 少年男子A 100m自由形 10位
10	陸上競技部	☆	5	特別国民体育大会	少年女子A300m 成年少年男女混合4×100mリレー 出場 少年女子A3000m 9位 少年女子B100m 出場 成年少年女子共通 4×100mリレー 準決勝進出
10	なぎなた部	☆	1	特別国民体育大会	2回戦進出
10	女子テニス部	☆	2	特別国民体育大会	2回戦進出
11	吹奏楽部	☆	35	第29回日本管楽合奏コンテスト全国大会	優秀賞
11	吹奏楽部	☆	48	第25回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜	審査員長賞
12	個人	☆	1	日本テレビ「歌唱王(全日本歌唱力選手権)」	準優勝
12	陸上競技部	☆	8	第35回女子全国高等学校駅伝競走大会	30位
1	書道部	☆	29	第3回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ決勝大会	出場
1	陸上競技	☆	2	第41回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会	静岡県代表 5区 6区 区間5位
2	陸上競技	☆	3	第107回日本陸上競技選手権	U20男子60mH B決勝5位 U18男子60mH B決勝6位 U18女子60mH出場
2	陸上競技部	☆	1	第107回日本陸上競技選手権大会・クロスカントリー競走	シニア2km 第2位
3	ソフトボール部	☆	12	第42回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会	出場
3	吹奏楽部	☆	8	第47回全国アンサンブルコンテスト	金管8重奏 銀賞
3	女子テニス部	☆	9	第46回全国選抜高校テニス大会	団体戦 2回戦進出
3	なぎなた部	☆	8	第19回全国高等学校なぎなた選抜大会	個人の部 2名出場 団体の部 出場
3	吹奏楽部	☆	6	第26回日本ジュニア打楽器コンクール	フルートソロ 出場 クラリネット 5重奏 出場
3	陸上競技部	☆	1	第45回世界クロスカントリー選手権	男女混合8kmリレー 7位入賞

年度	出場団体	出場生徒数
令和元年度	13	359
令和2年度	13	152
令和3年度	13	198
令和4年度	10	267
令和5年度	10	332

進路課

1 指導目標

生徒の自己実現を達成するため、進路意識の高揚に努め、きめ細かな進路指導を行う。
進路希望100%実現を目指す。

2 具体的実践活動重点目標

- (1) 一貫した指導体制を確立し、3年間の進路指導を計画的に実施する。
- (2) 教科指導力、進路指導力向上のための機会・ツールを提供する。
- (3) 模擬試験の受験を重視し、結果分析により弱点補強に努める。
- (4) 補習を計画的に実施し、生徒の学力向上を目指す。
- (5) 高大連携、模擬授業等を通して進路意識の高揚に努める。
- (6) 小論文、国公立大学2次指導における個別指導のためのシステム作り。

3 年間進路計画（抜粋） ○は模擬試験

	1・2年生	3年生
4月	進路志望調査 土曜補習開始 ○スタディサプリ到達度テスト（1年生）	進路志望調査 土曜補習開始
5月		○全統共通テスト模試 ○全統記述模試 ○進研共通テスト模試
6月	名古屋大学見学会	第1回進路検討会
7月	○進研模試 夏季進学補習	○進研記述模試 夏季進学補習 ○全統共通テスト模試
8月	○スタディサプリ到達度テスト	夏季進学補習 ○全統記述模試
9月	進路志望調査	進路志望調査 ○進研共通テスト模試
10月	進路講演会（1年生） 大学模擬授業（2年生）	共通テスト出願 ○進研記述模試 ○全統記述模試 ○全統共通テスト模試
11月	○進研模試	○全統プレ共通テスト
12月	冬季補習	第2回進路検討会 冬季補習 共通テスト直前演習
1月	○進研模試	共通テスト 第3回進路検討会
2月	○全統共通テスト模試（2年生） 進路講演会（2年生と2年生保護者）	個別学力試験対策
3月	受験体験を語る会（2年生） ○スタディサプリ到達度テスト	個別学力試験対策

過去7年間の合格者数・入学者数（現役生）

	国公立大学 合格数	国公立大学 入学者数	私立大学 入学者数	難関国立大学 合格者数	準難関国公立 大学合格者数	難関私立大学 合格者数	専門学校 入学者数	就職
平成29年度	154	142	210	12	20	163	16	0
平成30年度	170	159	209	11	22	130	13	2
令和元年度	181	174	197	15	24	218	11	2
令和2年度	184	169	200	8	18	181	20	5
令和3年度	181	169	208	17	23	290	7	0
令和4年度	200	194	179	19	22	257	4	1
令和5年度	179	172	162	18	28	249	7	1

◆本校では「難関国立大学」「準難関国公立大学」「難関私立大学」を以下のように設定しています。

難関国立大学：北海道、東北、お茶の水女子、東京外国語、東京工業、一橋、東京
名古屋、京都、大阪、神戸、九州

準難関国公立大学：筑波、千葉、東京都立、東京学芸、横浜国立、金沢
名古屋工業、広島

難関私立大学：青山学院、学習院、国際基督教、慶應義塾、上智、中央、津田塾
東京理科、法政、明治、立教、早稲田、南山、同志社、立命館
関西、関西学院

◆難関私立大学合格者数は延べ人数。1人が同一大学に受験方式の違いで2回または3回
合格した場合も加算してあります。

◆専門学校の中には予備校を含めていません。

令和5年度卒業生 主な合格大学（ ）は合格者数

室蘭工業(1) 岩手(1) 山形(1) 東北(3) 茨城(1) 筑波(4) 宇都宮(2) 群馬(1) 埼玉(3) 千葉(4) お茶の水(1)
東京外国語(1) 東京学芸(3) 東京工業(1) 東京農工(1) 横浜国立(2) 金沢(2) 福井(1) 山梨(3) 信州(5) 岐阜(3)
静岡(30) 浜松医科(9) 愛知教育(3) 名古屋(8) 名古屋工業(2) 三重(2) 京都(1) 京都教育(4) 大阪(2) 大阪教育(2)
神戸(1) 奈良教育(2) 鳥取(4) 島根(1) 広島(4) 山口(3) 徳島(1) 長崎(1) 秋田県立(1) 高崎経済(1)
千葉県立保健医療(1) 東京都立(7) 横浜市立(5) 都留文科(2) 山梨県立(2) 福井県立(1) 静岡県立(10)
静岡文化芸術(10) 愛知県立(2) 名古屋市立(1) 滋賀県立(4) 京都府立(1) 福知山公立(2) 神戸市外国語(1)
県立広島(2) 島根県立(1) 名桜(1) 青山学院(9) 学習院(1) 慶應義塾(1) 上智(3) 中央(13) 津田塾(1) 東京理科(7)
法政(16) 明治(15) 明治学院(3) 立教(6) 早稲田(5) 聖隷クリストファー(27) 常葉(137) 愛知(35) 中京(55)
京都女子(11) 同志社(26) 同志社女子(10) 立命館(92) 龍谷(24) 関西(14) 近畿(33) 関西学院(6)
南山(34) 名城(80) 京都産業(25)

※ 国公立大学 薬学部薬学科(2)

スクールカウンセラー相談室開設のお知らせ

令和6年度浜松市スクールカウンセリング活用事業に伴い、本年度も本校におきまして、スクールカウンセラーが定期的に来校し、下記のとおり相談室を開設することになりました。本年度で17年目の事業となります。過去の相談室利用状況は、下表のとおりです。

思春期は、多くの悩みを抱えやすく、こころのバランスを崩しやすい時期です。学校内の身近な場所で、専門家による相談が受けられるこの相談室をぜひ御活用ください。相談を希望される場合は、時間の調整がありますので申込みをお願いします。

< 相談室利用状況 >

単位 人

相談者	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
生 徒	4 2	5 0	4 1	5 7	5 5
保護者	3 3	3 5	2 2	3 3	3 4
合 計	7 5	8 5	6 3	9 0	8 9

- | | |
|---------|--|
| 1 対 象 | 生徒並びに保護者 |
| 2 日 時 | 毎週火曜日
午前9時30分から午後4時30分まで |
| 3 相談場所 | 本校 教育相談室 |
| 4 担 当 者 | 精神対話士 太田 久美子先生 |
| 5 申込み先 | 浜松市立高等学校
養護教諭 鈴木 理枝
TEL 053-453-1105 (代) |